

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2000305761
PUBLICATION DATE : 02-11-00

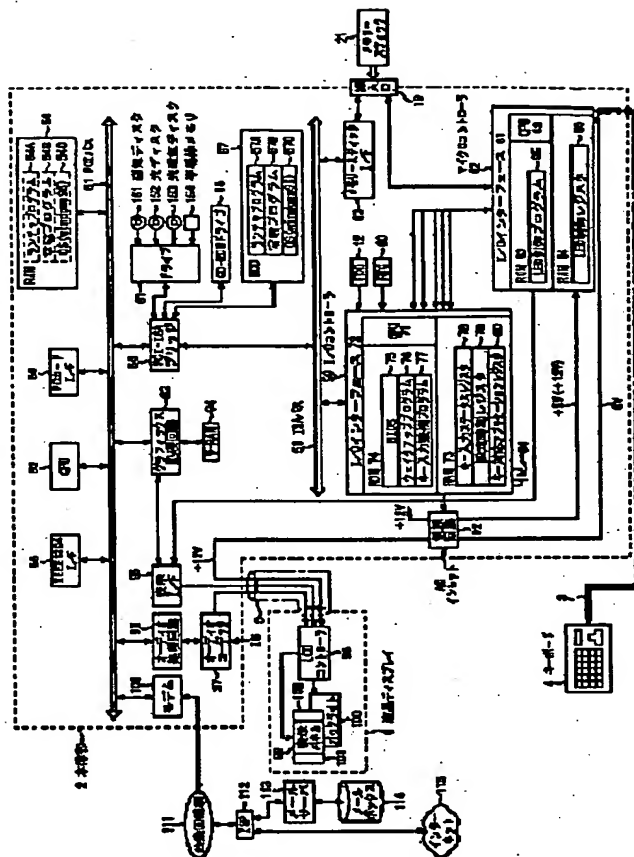
APPLICATION DATE : 07-01-00
APPLICATION NUMBER : 2000001534

APPLICANT : SONY CORP;

INVENTOR : NAKAGAWA TOMOHIRO;

INT.CL. : G06F 9/06

TITLE : DEVICE AND METHOD FOR
PROCESSING INFORMATION AND
PROGRAM STORAGE MEDIUM



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and rapidly process data in a storage medium by means of a desired program by starting an application program by means of data for specifying the application program when a storage medium is arranged.

SOLUTION: The micro-controller 62 of a personal computer 1 detects the arrangement of a memory stick 21. An operating system(OS) 54C incorporates a drive program for operating a memory stick interface 63. A resident program 54B detects an issued message. When it is judged that a launcher program 54A is not started, the resident program 54B starts the launcher program 54A and supplies the message including a setting name corresponding to the memory stick 21 to the program 54A. Then the program 54A reads a software name corresponding to the setting name based on the message and starts the corresponding application program.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-305761

(P2000-305761A)

(43) 公開日 平成12年11月2日 (2000.11.2)

(51) Int.Cl.
G 0 6 F 9/06

識別記号
4 1 0

F I
C 0 6 F 9/06

テ-マ-ト (参考)

4 1 0 S 5 B 0 7 6
4 1 0 C

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-1534(P2000-1534)

(22) 出願日 平成12年1月7日 (2000.1.7)

(31) 優先権主張番号 特願平11-39217

(32) 優先日 平成11年2月17日 (1999.2.17)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 国則 正人

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(72) 発明者 山口 宏

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(74) 代理人 100082131

弁理士 稲本 義雄

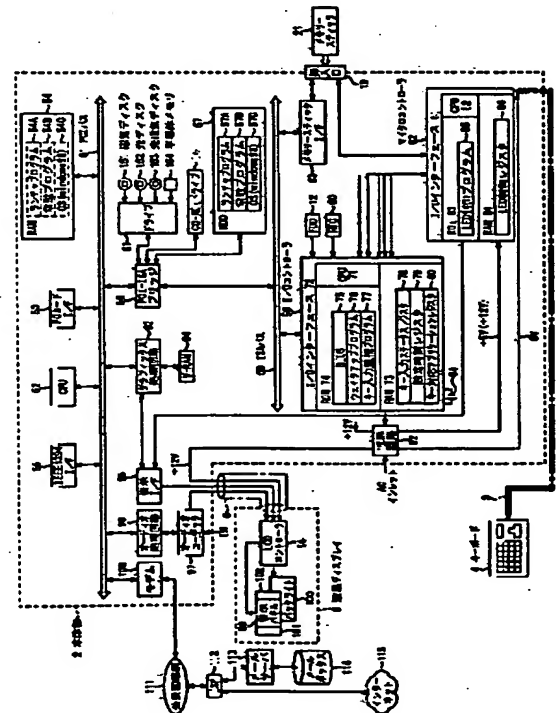
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びにプログラム格納媒体

(57) 【要約】

【課題】 簡単な操作で、迅速に記憶媒体に記憶されて
いるデータを所望のプログラムで処理する。

【解決手段】 マイクロコントローラ62は、メモリー
スティック21の装着を検出する。CPU52は、メモ
リースティック21の装着が検出されたとき、メモリー
スティック21に対応させて保持している、アプリケー
ションプログラムを特定するデータに基づき、アプリケー
ションプログラムを起動させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1のデータを記憶している記憶媒体が装着される情報処理装置において、前記記憶媒体に対応させて、所定のアプリケーションプログラムを特定する第2のデータを保持する保持手段と、

前記記憶媒体の装着を検出する検出手段と、前記記憶媒体の装着が検出されたとき、前記記憶媒体に対応させて前記保持手段が保持している、前記アプリケーションプログラムを特定する前記第2のデータに基づき、前記アプリケーションプログラムを起動させる起動手段とを含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記アプリケーションプログラムの処理に基づき、装着されている前記記憶媒体から、前記第1のデータを読み出す読み出し手段を更に含むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記記憶媒体に記憶されている前記第1のデータに基づき、前記アプリケーションプログラムの起動後の処理が実行されることを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】 前記記憶媒体は、固体メモリを含むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】 第1のデータを記憶している記憶媒体が装着される情報処理装置の情報処理方法において、前記記憶媒体に対応させて、所定のアプリケーションプログラムを特定する第2のデータを保持する保持ステップと、

前記記憶媒体の装着を検出する検出ステップと、前記記憶媒体の装着が検出されたとき、前記記憶媒体に対応させて前記保持ステップの処理で保持されている、前記アプリケーションプログラムを特定する前記第2のデータに基づき、前記アプリケーションプログラムを起動させる起動ステップとを含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】 第1のデータを記憶している記憶媒体に対応させて、所定のアプリケーションプログラムを特定する第2のデータを保持し、前記記憶媒体が装着される情報処理装置の情報処理用のプログラムであって、前記記憶媒体の装着を検出する検出ステップと、前記記憶媒体の装着が検出されたとき、前記記憶媒体に対応させて保持されている、前記アプリケーションプログラムを特定する前記第2のデータに基づき、前記アプリケーションプログラムを起動させる起動ステップとを含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが格納されているプログラム格納媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報処理装置および方法、並びにプログラム格納媒体に関し、特に、所定のデータを記憶している記憶媒体を利用する情報処理装

置および方法、並びにプログラム格納媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】 画像または音声などのデータの処理に、パーソナルコンピュータが広く利用されている。

【0003】 プログラムの起動の操作を簡単にするため、例えば、画像のデータを処理するプログラムと共に、画像のデータが記録されているCD-ROM (Compact Disc-Read Only Memory) を装着したとき、パーソナルコンピュータは、CD-ROMに記録されている所定のファイルに基づき、画像のデータを処理するプログラムを自動的に起動することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、CD-ROMなどの記録媒体を装着したとき、パーソナルコンピュータが起動させるプログラムは、CD-ROMに記録されているファイルにより、予め決められている。従って、このようなCD-ROMに記録されているデータを、他のプログラムで処理するとき、使用者は、所望のプログラムを、その都度起動させなければならず、面倒な操作が必要であった。

【0005】 本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、簡単な操作で、迅速に記憶媒体に記憶されているデータを所望のプログラムで処理できるようにすることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 請求項1に記載の情報処理装置は、記憶媒体に対応させて、所定のアプリケーションプログラムを特定する第2のデータを保持する保持手段と、記憶媒体の装着を検出する検出手段と、記憶媒体の装着が検出されたとき、記憶媒体に対応させて保持手段が保持している、アプリケーションプログラムを特定する第2のデータに基づき、アプリケーションプログラムを起動させる起動手段とを含むことを特徴とする。

【0007】 情報処理装置は、アプリケーションプログラムの処理に基づき、装着されている記憶媒体から、第1のデータを読み出す読み出し手段を更に設けることができる。

【0008】 情報処理装置は、記憶媒体に記憶されている第1のデータに基づき、アプリケーションプログラムの起動後の処理を実行するようにすることができる。

【0009】 情報処理装置は、記憶媒体に固体メモリを含むようにすることができる。

【0010】 請求項5に記載の情報処理方法は、記憶媒体に対応させて、所定のアプリケーションプログラムを特定する第2のデータを保持する保持ステップと、記憶媒体の装着を検出する検出ステップと、記憶媒体の装着が検出されたとき、記憶媒体に対応させて保持ステップの処理で保持されている、アプリケーションプログラムを特定する第2のデータに基づき、アプリケーションプログラムを起動させる起動ステップとを含むことを特徴

とする。

【0011】請求項6に記載のプログラム格納媒体のプログラムは、記憶媒体の装着を検出する検出ステップと、記憶媒体の装着が検出されたとき、記憶媒体に対応させて保持されている、アプリケーションプログラムを特定する第2のデータに基づき、アプリケーションプログラムを起動させる起動ステップとを含むことを特徴とする。

【0012】請求項1に記載の情報処理装置、請求項5に記載の情報処理方法、および請求項6に記載のプログラム格納媒体においては、記憶媒体の装着が検出され、記憶媒体の装着が検出されたとき、記憶媒体に対応させて保持されている、アプリケーションプログラムを特定する第2のデータに基づき、アプリケーションプログラムが起動される。

【0013】

【発明の実施の形態】図1乃至図3を参照して、本発明に係るパーソナルコンピュータ1の一実施の形態を説明する。図1は、パーソナルコンピュータ1全体の外観を示す図である。図2は、パーソナルコンピュータ1の本体部2の正面図である。図3は、本体部2に備わる蓋2Aを開けたときの、パーソナルコンピュータ1の本体部2の正面図である。

【0014】パーソナルコンピュータ1は、本体部2、キーボード4、液晶ディスプレイ(LCD(Liquid Crystal Display))6、およびマウス8で構成されている。本体部2は、後述するCPUおよびRAM等が格納され、所定のプログラムの実行により、キーボード4またはマウス8の操作に対応して、プログラムの処理の結果に対応する画像または文字などを液晶ディスプレイ6に表示させる。

【0015】本体部2および液晶ディスプレイ6はケーブル5で、本体部2およびキーボード4はケーブル3で、本体部2およびマウス8はケーブル7で、それぞれ接続されている。

【0016】図2に示すように、本体部2の正面には、開閉自在に設けられている蓋2A、電源スイッチ11、フロッピディスクドライブ12、フロッピディスクイジェクトボタン13、CD-ROMドライブ14、フロッピディスクアクセスランプ16、CD-ROMアクセスランプ17、およびHDD(Hard Disk Drive)アクセスランプ18等が設けられている。

【0017】電源スイッチ11は、パーソナルコンピュータ1の電源をオンまたはオフするとき、押圧される。パーソナルコンピュータ1の電源がオンしているとき、電源スイッチ11の電源ランプ11Aは、点灯する。

【0018】フロッピディスクドライブ12は、図示せぬフロッピディスクが装着され、装着されているフロッピディスクにデータまたはプログラムを記録するとともに、フロッピディスクに記録されているデータまたはプ

ログラムを読み出す。フロッピディスクドライブ12が、装着されているフロッピディスクにデータまたはプログラムを記録するとき、または、フロッピディスクに記録されているデータまたはプログラムを読み出すとき、フロッピディスクアクセスランプ16は、点灯する。

【0019】フロッピディスクがフロッピディスクドライブ12に装着されている場合、フロッピディスクイジェクトボタン13が押圧されたとき、フロッピディスクドライブ12は、装着されているフロッピディスクを排出する。

【0020】CD-ROMドライブ14は、図示せぬCD-ROMが装着され、装着されているCD-ROMに記録されているデータまたはプログラムを読み出す。CD-ROMドライブ14が、装着されているCD-ROMに記録されているデータまたはプログラムを読み出すとき、CD-ROMアクセスランプ17は、点灯する。

【0021】CD-ROMがCD-ROMドライブ14に装着されている場合、CD-ROMイジェクトボタン15が押圧されたとき、CD-ROMドライブ14は、そのトレイと共に、装着されているCD-ROMを排出する。

【0022】後述するハードディスクドライブが、データまたはプログラムを記録するとき、または、記録されているデータまたはプログラムを読み出すとき、HDDアクセスランプ18は、点灯する。

【0023】蓋2Aを開いた本体部2の正面には、図3に示すように、PCカードスロットおよびUSB(Universal Serial Bus)ポートなどと共に、半導体メモリなどの固体メモリを使用するメモリーカードの1つであるメモリースティック21(商標)を挿入するための、挿入口19が設けられている。

【0024】パーソナルコンピュータ1は、挿入口19からメモリースティック21が装着されたとき、メモリースティック21に対応するアプリケーションプログラムを起動させ、メモリースティック21に記憶されている画像または音声などのデータに対応した処理を実行する。

【0025】図4は、パーソナルコンピュータ1の構成を説明するブロック図である。内部バス(いわゆる、ホストバス)であるPCI(Peripheral Component Interconnect/Interface)バス51には、CPU(中央処理装置)52、PCカードインターフェース53、RAM(Random Access Memory)54、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394インターフェース55、PCI-ISA(Industry Standard Architecture)ブリッジ56、グラフィックス処理回路93、オーディオ処理回路96、およびモデム103が接続されている。

【0026】CPU52は、RAM54にロードされている、OS(Operating System)または後述するプログラムを実行して、パーソナルコンピュータ1の各機能を統括する

コントローラである。

【0027】PCカードインターフェース53は、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association)が規定する規格に基づいたPCカードとのインターフェースであり、PCIバス51に対してオプションの機能を付加するためのものである。

【0028】RAM54には、本体12の起動が完了した時点において、ランチャプログラム（アプリケーションプログラム）54A、常駐プログラム（アプリケーションプログラム）54B、そしてOS（基本プログラム）54Cがロードされる。

【0029】ランチャプログラム54Aは、常駐プログラム54Bによる、挿入口19にメモリスティック21が挿入されて、装着されたか否かの判定を基に、所定のアプリケーションプログラムを起動させるプログラムである。

【0030】常駐プログラム54Bは、OS54Cが生成する、挿入口19にメモリスティック21が挿入されて、装着されたことを示すメッセージを検知し、ランチャプログラム54Aを起動するか、または、所定のイベントをランチャプログラム54Aに供給するプログラムである。

【0031】OS54Cは、パーソナルコンピュータ1を制御するプログラムであり、Windows98のようなオペレーティングシステムを用いることができる。OS54Cは、マイクロコントローラ62から出力される、挿入口19にメモリスティック21が挿入され、装着されたことを示す信号を基に、所定のメッセージを生成する。Windows98は、米国のマイクロソフト社が開発したパーソナルコンピュータ用のオペレーティングシステムの一種である。

【0032】IEEE1394インターフェース55は、IEEE1394の規格に基づき、図示せぬデジタルビデオカセットレコーダなどの装置と通信をするためのインターフェースである。

【0033】PCIバス51は、PCI-ISAブリッジ56を介して、外部バス（いわゆる、拡張スロットバス）であるISAバス58に接続されており、ISAバス58には、I/Oコントローラ（入出力コントローラ）59、およびメモリスティックインターフェース63等が接続されている。

【0034】I/Oコントローラ59は、いわゆる、マイクロコントローラであり、CPU71、I/Oインターフェース72、RAM73、ROM (Read Only Memory) 74が相互に接続されて構成されている。このRAM73は、キー入力ステータスレジスタ78、設定時刻レジスタ79、およびキー対応アプリケーションレジスタ80を有している。

【0035】キー入力ステータスレジスタ78は、ワンタッチ操作（押すだけで、所定のアプリケーションプロ

グラムを起動させる処理）用の操作キー（図示せず）が押されると、操作キーフラグが格納される。設定時刻レジスタ79は、ユーザが予め時刻（起動条件）を設定し、予め設定された時刻に、所定のアプリケーションプログラムを起動させる際に利用される。キー対応アプリケーションレジスタ80は、予め設定された操作キーの組合せと、起動すべきアプリケーションプログラムの対応を記憶するもので、予め設定された操作キーの組合せがユーザにより押されると、起動しようとするアプリケーションプログラム（例えば電子メールのアプリケーションプログラム）を起動できる。

【0036】このI/Oコントローラ59にはバックアップ用のバッテリー64が設けられており、キー入力ステータスレジスタ78、設定時刻レジスタ79、およびキー対応アプリケーションレジスタ80の値は、パーソナルコンピュータ1の電源がオフとされている状態においても保持される。

【0037】I/Oコントローラ59内のROM74の中には、ウェイクアッププログラム76およびキー入力監視プログラム77が予め格納されている。このROM74は、例えばEEPROM (Electrically Erasable and Programmable Read Only Memory) で構成されている。このEEPROMはフラッシュメモリとも呼ばれている。さらにI/Oコントローラ59には、常時現在時刻をカウントするRTC (Real-Time Clock) 60およびフロッピディスクドライブ12が接続されている。

【0038】フロッピディスクドライブ12は、フロッピディスクが装着され、装着されたフロッピディスクに、PCIバス51、ISAバス58、I/Oコントローラ59等を介して、CPU52、RAM54、またはハードディスクドライブ（以下、HDDとも称する）57から供給されたデータを記録するとともに、フロッピディスクに記録されているデータまたはプログラムを読み出して、CPU52、RAM54、またはHDD57に出力する。

【0039】ROM74の中のウェイクアッププログラム76は、RTC60から供給される現在時刻データに基づいて予め設定時刻レジスタ79に設定された時刻になったか否かを判定し、設定された時刻であると判定された場合、所定の処理（またはプログラム）等の起動をするプログラムである。キー入力監視プログラム77は、操作キーが利用者により押されるかどうかを常時監視するプログラムである。

【0040】ROM74には、さらにBIOS (Basic Input/Output System) 75が書き込まれている。このBIOS75は、基本入出力システムであり、OS54Cおよびアプリケーションソフトウェアと周辺機器（液晶ディスプレイ6、キーボード4、HDD57等）との間でのデータの受け渡し（入出力）を制御するソフトウェアプログラムである。

【0041】I/Oコントローラ59には、更に、マイク

装着したときの動作の設定について説明する。

【0058】図5は、液晶ディスプレイ6に表示される、所定のイベント（例えば、メモリスティック21が装着された、操作キーが押されたなど）に対応させ、起動するアプリケーションプログラムを設定する画面の例を説明する図である。フィールド201は、所定のイベント（例えば、メモリスティック21が装着された）が発生したときに起動させるアプリケーションプログラムが記憶されているデバイス（例えば、ハードディスクドライブ57）の名称、フォルダの名称、およびアプリケーションプログラムの名称が、所定の書式で入力される。

【0059】フィールド202は、所定のイベントが発生したときに起動されるアプリケーションプログラムの動作のオプションを指定する引数が入力される。例えば、メモリスティック21が装着されたとき、所定のアプリケーションプログラムが起動されると共に、メモリスティック21に記憶されている所定の画像のデータを読み出して表示させるなど動作をさせる引数が設定される。

【0060】所定のイベントが発生したときに起動されるアプリケーションプログラムの動作の他のオプションとして、例えば、メモリスティック21に記憶されているデータに基づき（例えば、バッジ処理により）、起動後のアプリケーションプログラムの動作を決定する、または、メモリスティック21に記憶されているデータに基づき、さらに他のアプリケーションプログラム（メモリスティック21に記憶されていてもよい）を起動させるなどが設定できる。

【0061】フィールド203には、所定のイベントが発生したときに起動されるアプリケーションプログラムが利用する作業フォルダが設定されているデバイス（例えば、ハードディスクドライブ57）の名称、フォルダの名称などが、所定の書式で入力される。

【0062】フィールド201およびフィールド203のそれぞれに入力されたデータは、ランチャプログラム54Aが管理するRAM54（または、HDD57）の所定の領域に記憶される。

【0063】図5に示す画面の“次へ”と名称が設定されているボタンがクリックされたとき、パーソナルコンピュータ1は、図6に示す、所定のイベントが発生したときの動作の設定名を入力する画面を液晶ディスプレイ6に表示させる。

【0064】フィールド211は、所定のイベントが発生したときの動作の設定の名称（例えば、Slide Show）が入力される。フィールド212は、所定のイベントが発生したときの動作の設定の内容を、文で具体的に説明する詳細情報が入力される。

【0065】フィールド211およびフィールド212に入力されたデータは、ランチャプログラム54Aが管

理するRAM54（または、HDD57）の所定の領域に記憶される。

【0066】図7は、ランチャプログラム54Aが管理する、フィールド201、フィールド202、またはフィールド211に入力されたデータを記憶するテーブルを説明する図である。ランチャプログラム54Aは、フィールド211に設定された設定名に対応させて、フィールド201に設定されたアプリケーションプログラムの名称およびフィールド202に設定された動作のオプションを指定する引数を記憶する。

【0067】例えば、図7に示すテーブルは、設定名“Slide Show”に対応して、アプリケーションプログラムの名称“D:\Program\SONY\PictureGear\SlideShow”およびフィールド202に設定された引数“/MS S;”を記憶する。また、例えば、図7に示すテーブルは、設定名“Navin'You”に対応して、アプリケーションプログラムの名称“D:\Program\SONY\Navin'You”およびフィールド202に設定された引数“”（すなわち、引数が設定されていない）を記憶する。

【0068】次に、図8乃至図10を参照して、挿入口19にメモリスティック21を装着する動作に対応させ、所定のアプリケーションプログラムを起動させる設定の画面の例を説明する。

【0069】図6に示す画面の“次へ”と名称が設定されているボタンがクリックされたとき、パーソナルコンピュータ1は、図8に示す画面を液晶ディスプレイ6に表示させる。図8は、図5に示す画面で入力された、所定のイベントに対応する、アプリケーションプログラムの起動などの動作を表示する画面を説明する図である。

【0070】フィールド221は、所定のイベントに対応する、アプリケーションプログラムの起動などの動作の設定のリスト、および設定のリストに対応する詳細情報が表示される。

【0071】フィールド221に表示されている設定の1つである“Slide Show”をダブルクリックすると、図9に示すように、イベント選択ウィンド231が表示される。イベント選択ウィンド231に表示されているイベントから、“メモリスティックに割り当てる”を選択（図9に示すように、“メモリスティックに割り当てる”コマンドをハイライト表示にさせた後、イベント選択ウィンド231を閉じる）する。

【0072】すると、図10に示すように、フィールド221に表示されている“Slide Show”の設定の図中の右側に、その設定が挿入口19にメモリスティック21が装着されたとき起動されることを示すアイコン241が表示される。

【0073】以上の操作により入力された、挿入口19からメモリスティック21が挿入されて、装着されたとき、所定の設定が起動されることを示すデータは、常駐プログラム54Bが管理するRAM54（または、HDD5

7) の所定の領域に記憶される。

【0074】図11は、常駐プログラム54Bが、フィールド221およびイベント選択ウィンド231への操作に対応して記憶するテーブルを説明する図である。常駐プログラム54Bは、イベント選択ウィンド231への操作で選択されたデバイスの名称に対応させて、フィールド221への操作で選択された設定名を記憶する。

【0075】例えば、図11に示すテーブルは、デバイス“メモリスティック”に対応して、設定名“Slide Show”を記憶する。また、例えば、図11に示すテーブルは、デバイス“PPK1”に対応して、設定名“Navin'You”を記憶する。

【0076】図5乃至図10に示す設定を行った場合、パーソナルコンピュータ1の挿入口19にメモリスティック21が挿入され、装着されたとき、パーソナルコンピュータ1は、液晶ディスプレイ6に、図12に示すセットアップウィンドを表示し、所定のアプリケーションプログラムを起動させる。

【0077】なお、セットアップウィンドは、設定の名称および詳細情報を表示する設定表示フィールド251を備えている。

【0078】挿入口19にメモリスティック21を装着したとき、所定のアプリケーションプログラムを起動させる動作を図13を参照して説明する。メモリスティック21が挿入口19に挿入され、装着されたとき、マイクロコントローラ62は、メモリスティック21の装着を検出して、所定の信号をI/Oコントローラ59に出力する。I/Oコントローラ59は、メモリスティック21が装着されたことを示すデータを、ISAバス58、PCI-ISAブリッジ56、およびPCIバス51を介して、OS54Cのリムーバブルメディアドライブを実行するCPU52に供給する。

【0079】CPU52が実行するOS54Cは、OS54Cの機能の一部であるリムーバブルメディアドライブの処理に基づき、メモリスティック21が装着された旨のメッセージを、CPU52が実行する常駐プログラム54Bに供給する。

【0080】常駐プログラム54Bは、メモリスティック21が装着された旨のメッセージを受信した場合、ランチャプログラム54Aが起動されていないとき、ランチャプログラム54Aを起動させる。

【0081】常駐プログラム54Bは、図11に示すテーブルを基に、メモリスティック21に対応する設定名(例えば、“Slide Show”)を選択して、ランチャプログラム54Aに、設定名を含むメッセージを供給する。

【0082】ランチャプログラム54Aは、設定名を含むメッセージを受信したとき、図7に示すテーブルを基に、メッセージに含まれる設定名に対応するソフトウェア名および引数を読み出して、ソフトウェア名に対応する

所定のアプリケーションプログラムを起動するとともに、引数に対応する動作を実行させる。

【0083】例えば、ランチャプログラム54Aは、設定名“Slide Show”を含むメッセージを受信したとき、図7に示すテーブルを基に、アプリケーションプログラムの名称“D:\Program\SONY\PictureGear\SlideShow”およびフィールド202に設定された引数“/MS S;”を読み出して、“D:\Program\SONY\PictureGear\SlideShow”に対応するアプリケーションプログラムを起動させるとともに、起動の時に、引数“/MS S;”をアプリケーションプログラムに渡す。“D:\Program\SONY\PictureGear\SlideShow”に対応するアプリケーションプログラムは、起動された後、引数“/MS S;”に対応する処理を実行する。

【0084】例えば、アプリケーションプログラムは、引数“/MS S;”に対応する動作として、パーソナルコンピュータ1に装着されたメモリスティック21から所定のデータ(例えば、画像のデータ、または音声のデータなど)を読み出す。

【0085】このように、パーソナルコンピュータ1は、メモリスティック21が装着されたとき、所定のアプリケーションプログラムを起動するとともに、起動したアプリケーションプログラムにメモリスティック21に記憶されているデータを読み出させることができる。

【0086】次に、挿入口19にメモリスティック21を装着したとき、所定のアプリケーションプログラムを起動させる処理を、図14のフローチャートを参照して説明する。

【0087】ステップS11において、パーソナルコンピュータ1のマイクロコントローラ62は、挿入口19から挿入されたメモリスティック21の装着を検出する。マイクロコントローラ62は、OS54Cのリムーバブルメディアドライブに、メモリスティック21の装着を通知する。ステップS12において、OS54Cのリムーバブルメディアドライブは、OS54Cに、メモリスティック21の装着を通知する。

【0088】ステップS13において、OS54Cは、メモリスティックインターフェース63を動作させるドライバプログラムを組み込む。ステップS14において、OS54Cは、起動されている他のプログラムに、挿入口19から挿入され、装着されたメモリスティック21が使用可能になったことを通知するメッセージを発行する。

【0089】ステップS15において、常駐プログラム54Bは、ステップ14で発行されたメッセージを検出する。ステップS16において、常駐プログラム54Bは、ステップS15で検出したメッセージを基に、メモリスティック21が装着されたか否かを判定し、メモリスティック21が装着されたと判定された場合、ス

テップS17に進み、ランチャプログラム54Aが起動しているか否かを判定する。

【0090】ステップS17において、ランチャプログラム54Aが起動されていないと判定された場合、ステップS18において、常駐プログラム54Bは、ランチャプログラム54Aを起動させ、図11に示すテーブルに基づき、メモリスティック21に対応する設定名（例えば、“Slide Show”）を含む所定のメッセージをランチャプログラム54Aに供給し、ステップS19に進む。

【0091】ステップS17において、ランチャプログラム54Aが起動されていると判定された場合、ステップS18はスキップされ、常駐プログラム54Bは、ランチャプログラム54Aを起動させ、図11に示すテーブルに基づき、メモリスティック21に対応する設定名を含む所定のメッセージをランチャプログラム54Aに供給し、ステップS19に進む。

【0092】ステップS19において、ランチャプログラム54Aは、メモリスティック21に対応する設定名を含む所定のメッセージを基に、図7に示すテーブルから設定名に対応するソフトウェア名を読み出して、ソフトウェア名に対応するアプリケーションプログラムを起動する。ランチャプログラム54Aは、アプリケーションプログラムの起動のとき、図7に示すテーブルに記憶されている設定名に対応する引数をアプリケーションプログラムに渡す。起動されたアプリケーションプログラムは、ランチャプログラム54Aから受け取った引数に基づき、挿入口19から挿入され、装着されているメモリスティック21から所定のデータを読み出し、所定の処理（引数に従った処理）を実行する。

【0093】以上のように、パーソナルコンピュータ1は、メモリスティック21が装着されると、所定のアプリケーションプログラムを起動し、メモリスティック21に記憶されている所定のデータを読み出し、所定の処理を実行する。

【0094】メモリスティック21に電話番号のデータ、スケジュールを示すデータ、または動画のデータを記憶させておくことにより、デジタルスチルカメラ、デジタルビデオカメラ、携帯電話、またはPDA(Personal Data Assistant)とのデータの共有が、複雑な操作を必要とせず、簡単に実行することができる。

【0095】また、メモリスティック21に個人の認証データを記憶させ、メモリスティック21が装着されたパーソナルコンピュータ1は、メモリスティック21に記憶されている認証データに基づき、利用者の権限（利用できるメディアの範囲、または読み書きできるファイルの範囲の制限など）を決定するようにしてもよい。

【0096】なお、メモリスティック21の装着により所定のアプリケーションプログラムが起動されるとし

て説明したが、他の記憶媒体または記録媒体（例えば、スマートメディア（商標）、コンパクトフラッシュ（商標）、ハードディスク、フロッピーディスクなど）を装着したとき、所定のアプリケーションプログラムが起動されるようにしてもよい。

【0097】上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータ、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば汎用のパーソナルコンピュータなどに、プログラム格納媒体からインストールされる。

【0098】コンピュータにインストールされ、コンピュータによって実行可能な状態とされるプログラムを格納するプログラム格納媒体は、図4に示すように、磁気ディスク151（フロッピーディスクを含む）、光ディスク152（CD-ROM(Compact Disc-Read Only Memory)、DVD(Digital Versatile Disc)を含む）、光磁気ディスク153（MD(Mini-Disc)を含む）、若しくは半導体メモリ154などよりなるパッケージメディア、または、プログラムが一時的若しくは永続的に格納されるROMや、HDD57に内蔵されているハードディスクなどにより構成される。プログラム格納媒体へのプログラムの格納は、必要に応じてルータ、モデム103などのインタフェースを介して、ローカルエリアネットワーク、ネットワーク115、デジタル衛星放送といった、有線または無線の通信媒体を利用して行われる。

【0099】なお、本明細書において、プログラム格納媒体に格納されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0100】また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0101】

【発明の効果】請求項1に記載の情報処理装置、請求項5に記載の情報処理方法、および請求項6に記載のプログラム格納媒体によれば、記憶媒体の装着が検出され、記憶媒体の装着が検出されたとき、記憶媒体に対応させて保持されている、アプリケーションプログラムを特定する第2のデータに基づき、アプリケーションプログラムが起動されるようにしたので、簡単な操作で、迅速に記憶媒体に記憶されているデータを所望のプログラムで処理できるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】パーソナルコンピュータ1全体の外観を示す図である。

【図2】本体部2の外観を示す図である。

【図3】本体部2の外観を示す図である。

【図4】パーソナルコンピュータ1の構成を説明するブロック図である。

【図5】所定のイベントに対応させ、起動するアプリケーションプログラムを設定する画面の例を説明する図である。

【図6】所定のイベントが発生したときの動作の設定名を入力する画面の例を示す図である。

【図7】ランチャプログラム54Aが管理する、フィールド201、フィールド202、またはフィールド211に入力されたデータを記憶するテーブルを説明する図である。

【図8】挿入口19にメモリスティック21を装着する動作により、所定のアプリケーションプログラムを起動させる設定の画面を説明する図である。

【図9】挿入口19にメモリスティック21を装着する動作により、所定のアプリケーションプログラムを起動させる設定の画面を説明する図である。

【図10】挿入口19にメモリスティック21を装着する動作により、所定のアプリケーションプログラムを起動させる設定の画面の例を説明する図である。

【図11】常駐プログラム54Bが、フィールド221およびイベント選択ウィンド231への操作に対応して記憶するテーブルを説明する図である。

【図12】挿入口19にメモリスティック21を装着したとき、表示される画面の例を示す図である。

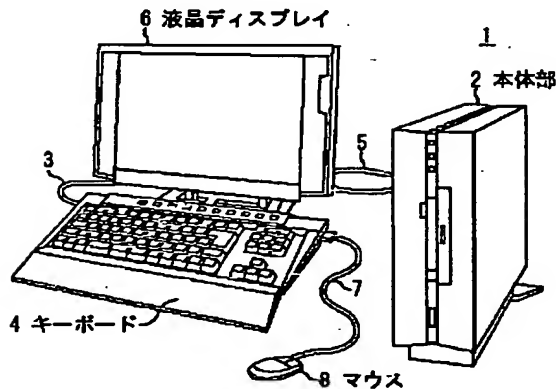
【図13】挿入口19にメモリスティック21を装着したとき、所定のアプリケーションプログラムを起動させる動作を説明する図である。

【図14】挿入口19にメモリスティック21を装着したときの、所定のアプリケーションプログラムを起動させる処理を説明するフローチャートである。

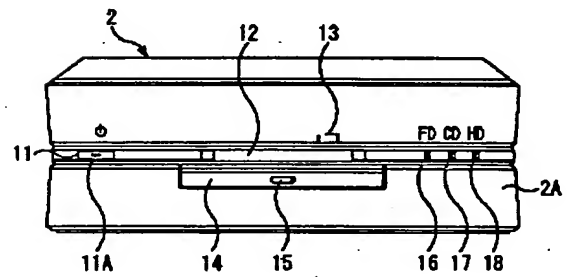
【符号の説明】

1 パーソナルコンピュータ、 4 キーボード、 6 液晶ディスプレイ、 8 マウス、 19 挿入口、 21 メモリスティック、 51 PCIバス、 52 CPU、 54 RAM、 54A ランチャプログラム、 54B 常駐プログラム、 54C OS、 62 マイクロコントローラ、 63 メモリスティックインターフェース、 151 磁気ディスク、 152 光ディスク、 153 光磁気ディスク、 154 半導体メモリ

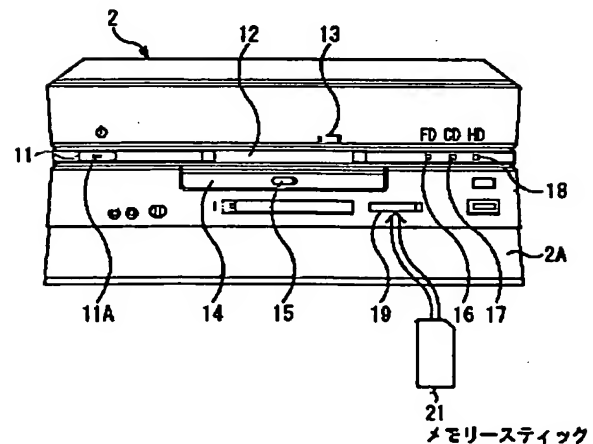
【図1】



【図2】



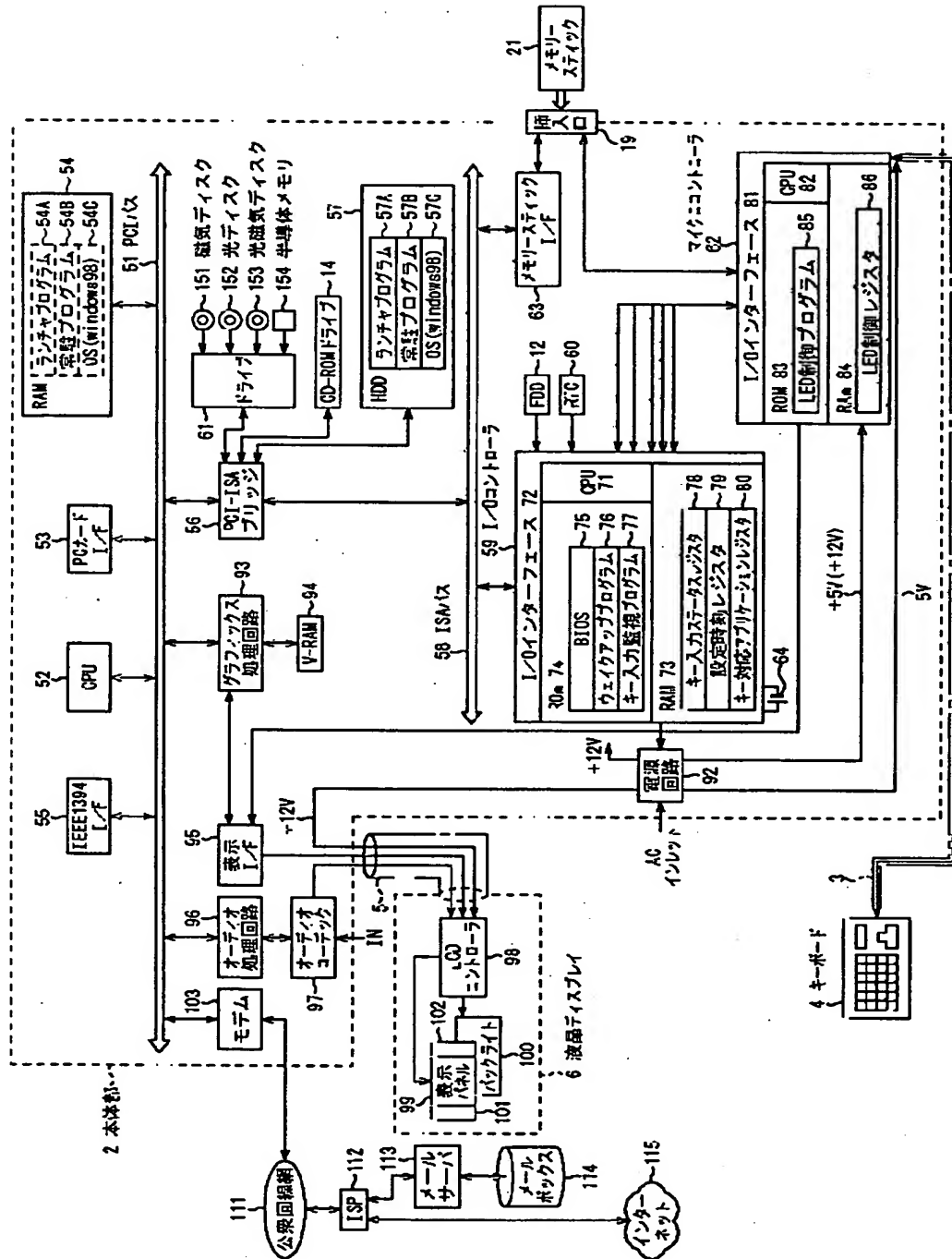
【図3】



【図11】

デバイス	設定名
メモリスティック	Slide Show
PPK1	Navin'You
PPK2	Picture Gear
...	...

【図4】



【図5】

ソフトウェア名の入力

起動したいソフトウェア名の入力

201 D:\Program\SONY\PictureGear\SlideShow 参照

作業フォルダを指定して下さい

203 参照

起動時に引致を設けたい場合にはここに入力して下さい

202 /MS S:

戻る 次へ キャンセル

【図6】

設定名と詳細情報の入力

設定名

211 Slide Show

詳細情報

212 Slide Showでメモリースティック内の画像データを鑑賞する

戻る 次へ キャンセル

【図7】

設定名	ソフトウェア名	引 致
Slide Show	D:\Program\SONY\PictureGear\SlideShow	/MS S:
Read Me	D:\Program\Accessories\Memo	
Navin'You	D:\Program\SONY\Navin'You	
Picture Gear	D:\Program\SONY\PictureGear\PictureGear	/MS
⋮	⋮	⋮

【図8】

ソフトウェア登録

設定名	詳細情報
Slide Show	Slide Showでメモリースティック
Read Me	はじめにおよみください
Navin'You	Navin'Youを起動します
Picture Gear	Picture Gearで写真鑑賞
⋮	⋮

221

新規登録

OK キャンセル

【図9】

ソフトウェア登録

設定名	詳細情報
Slide Show	メモリースティックに割り当てる
Read Me	PPK1に割り当てる
Navin'You	PPK2に割り当てる
Picture Gear	PPK3に割り当てる
⋮	PPK4に割り当てる
⋮	PPK5に割り当てる
⋮	⋮

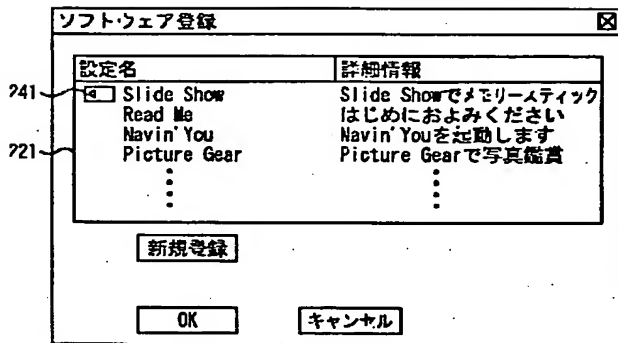
221

231

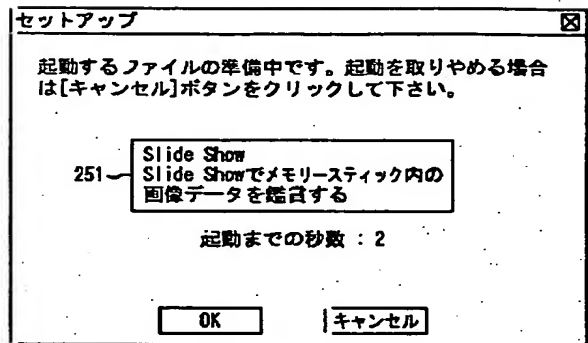
新規登録

OK キャンセル

【図10】



【図12】



【図13】

